

カーマン市での体験・経験を報告  
教育研修訪問団 帰国報告会



▲英語版で昔話「桃太郎」を披露しました

9月21日、函南町役場で函南町の姉妹都市アメリカ・カリフォルニア州・カーマン市へ教育研修訪問（7月25日～8月3日の10日間）の帰国報告会が行われました。

カーマン市へは、9人の中学生・高校生と2人の引率者の11人が訪れ、帰国報告会では、ホストファミリーとの交流や自身の体験発表、交流パーティーで実施した「出し物」の披露を行いました。

参加した中学生・高校生は「日本との文化の違いを感じた」「言葉が通じない中、自分からチャレンジする大切さを学んだ」「50年先、100年先もカーマン市と友好都市が続いてほしい」などの感想を話しました。

開国 20 周年  
酪農王国オラッチェで記念イベント

9月23日、9月24日の2日間、酪農王国オラッチェで「酪農王国オラッチェ開国20周年記念イベント」が行われました。

開国20周年記念イベントは、感謝の気持ちを牛〜とこめてお得でたのしい2日間をテーマに、ステージイベントや飲食物の販売、FMラジオ全国放送、「オラッチェ検定」ウルトラクイズ、2日間限定のオラッチェソフトクリームチョコレート味の販売などが行われました。

限定ソフトクリームを口にしたら子どもからは「普段のミルク味もおいしいけど、チョコレート味もおいしい」などの感想が聞こえました。



▲ステージではさまざまなイベントが行われました

みんなでふれあい明日へつなぐ  
函南町ふれあい交流会



▲「ドレミの歌」に合わせて体を動かす参加者

9月24日、かなみ知恵の和館で第2回「函南町ふれあい交流会」が行われました。

同交流会は、障害のある人とその家族、地域住民が発表、展示などを通して交流やふれあいを深め、障害について理解の輪を広げ、障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的に200人が参加。本の読み聞かせや「幸せなら手をたたこう」「手のひらを太陽に」などのみんなが知っている音楽を歌ったり、リズムに合わせて手を叩いたりして楽しみました。この他に障害者の作品展示、授産品の販売などが行われ、交流を深めました。

中学女子硬式野球  
加藤さんが日本一を報告



▲全国大会優勝を報告する加藤さん

8月30日、女子中学生硬式野球チーム「スルガマリンガールズ」に所属する加藤紫帆さん（東中3年）が、第3回全国女子中学生硬式野球選手権大会に出場し、優勝したことを森町長に報告しました。

スルガマリンガールズは県内で唯一の女子中学生の硬式野球チームで、加藤さんは今大会では主にレフトとライトで出場。「準決勝でチャンスを広げるヒットを打てたことが嬉しかった。去年は3位だったので優勝して悔しさを果たせて嬉しい」と笑顔で日本一の感想を話してくれました。

伊豆半島の食の祭典  
IZU 食彩トレイドフェアでPR

9月8日、9月9日の2日間、函南町文化センターでIZU食彩トレイドフェアが行われました。

IZU食彩トレイドフェアは、函南町、伊豆の国市、伊豆市、東伊豆町、西伊豆町、南伊豆町、河津町、松崎町の2市6町を中心に食品製造会社など61団体が参加しました。

同フェアは、商品の販売拡大や新商品をPRすることを目的に行われ、1日目は企業やバイヤー向けの商談会、2日目は一般の皆さんへの試食・販売が行われました。また、来場者の皆さんの投票で決める「おいしいIZUグランプリ」も行われました。



▲各店舗、自慢の逸品をPRしました

県内 10 支部で頂点を競う  
「より速く、より正確に」



▲日頃の訓練の成果を発揮する第2分団

9月10日、静岡市安倍川左岸 与一ヘリポートで「第36回静岡県消防操法大会」が行われました。

同大会には、ポンプ車操法、小型ポンプ操法の2部門に各支部代表の10の消防団が出場し、函南町からは田方支部消防操法大会小型ポンプ操法で優勝した第2分団（丹那、畑、軽井沢、田代、鬘之沢、細沢、六本松、エメラルド、ダイヤモンド）が出場しました。

残念ながら入賞は逃しましたが、指揮者の号令に従い、機敏にホースをさばき、放水を披露する団員の姿は、他の消防団とともに観客を魅了しました。